

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	12120	電話	042-769-8347
担当部課名	保健所	生活衛生	課	環境衛生 班
事務事業名	動物愛護普及事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	地域保健対策の充実	12年度
施策名	第2施策	快適で安全な生活環境の確保	

2 実施根拠及び関連法令等

動物の愛護及び管理に関する法律

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
相模原市獣医師会が行う「子犬・子猫の里親さがし」の会場において「犬のしつけ教室」を開催し、また飼い犬、飼い猫の飼育放棄者に対し繁殖制限の指導及び飼育指導することにより動物愛護思想の啓発及び適正飼養に関する知識の啓発・普及を図る	市民 対象数 240人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
・犬猫引取り数 犬 38頭 猫 87匹(H15.3月末現在) ・しつけ教室 参加者人数 240人(H15.3月末現在)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
活動指標	しつけ教室事業実施率	事業実施回数÷事業計画回数*100	実施率により事業の活動状況を見る	100	100	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	平成12年度 決算	平成13年度 決算	平成14年度 決算	平成15年度 予算	平成16年度 予算(見込み)
人員・時間数	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年
人件費	1,678	1,678	1,678	1,678	1,678
その他経費	0	0	0	0	0
合計	1,991	2,005	1,955	3,740	3,740
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	134	237	240	250	250
対象の単位あたり経費	14.9	8.5	8.1	15.0	15.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	子犬、子猫の里親探しと同時に「犬のしつけ教室」を実施し、適正飼養の指導をすることで事業の成果が達成された。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 飼い主等に、適正飼養についての理解を深めてもらう点から考えても本事業は継続していく必要がある
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	定期的に行う、愛玩動物飼養管理士等による「犬のしつけ教室」は、適正飼養に関する知識の普及・啓発につながる事業である
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 子犬、子猫の里親探しと同時に開催することは適正飼養の普及・啓発に効果的である
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	「犬のしつけ教室」については、受講者の人数制限等は設けず、広く市民の参加を得るようにし公平性の確保に努めた
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 数々の情報媒体を利用し、広く市民に動物愛護思想の普及啓発をする	手段	なし
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	事業内容については、ほぼ同様である。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明	
<input type="checkbox"/>	見直し	適正飼養の知識を深めてもらい、動物愛護思想を普及啓発していく上でも、本事業は継続すべきである	
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済		

12 二次評価コメント

--